

2022（令和4）年度

城西大学動物実験自己点検・評価報告書

2023（令和5）年 8月 21日

城西大学動物実験管理自己点検評価委員会

本報告書は、城西大学動物実験規程第 12 章（自己点検・評価・検証）第 45 条に基づき、城西大学動物実験管理自己点検評価委員会が作成したものである。

作成日：2023（令和 5）年 8 月 21 日

作成者：和田政裕（委員長）、一色恭徳（副委員長）、石黒直哉（委員）、内田昌希（委員）、五十嵐庸（委員）、中谷祥恵（委員）

## I 規程及び体制等の整備状況

### 1) 機関内規程

#### [現状と点検・評価]

「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（以下「基本指針」と表記する）に適合する機関内規程〔城西大学動物実験規程、2007（平成19）年10月12日制定・施行、2010（平成22）年6月23日一部改正、2017（平成29）年10月20日一部改正、2019（平成31）年4月1日一部改正〕が定められており、適正であると判断できる。

#### [改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

### 2) 各種動物関連委員会

#### [現状と点検・評価]

基本指針に適合する「城西大学全学動物実験管理委員会」の下、「動物実験管理委員会」「動物実験委員会」「動物実験広報委員会」等、各種関連委員会が組織され、適正に運営されている。

#### [改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

### 3) 動物実験の実施体制

#### [現状と点検・評価]

動物実験は城西大学動物実験規程第9章に従って実験計画の立案（動物実験計画書、書式1）、審査、手続きを経、適正に実施される体制になっている。動物実験の終了時には実験結果報告書（書式2）と動物実験終了・中止報告書（書式8）の提出が定められており、適正と判断できる。

#### [改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

### 4) 実験施設の設置状況

#### [現状と点検・評価]

実験動物の飼養と動物実験が実施された16号館の実験室、18号館の実験室、21号館の実験室、22号館の実験室、23号館の実験室、16号館動物施設、21号館動物施設、22号館動物施設、23号館動物施設、生命科学研究センター内実験室及び動物施設はいずれも城西大学動物実験規程第10章第37条から第42条に従って設置管理され、城西大学全学動物実験管理委員会の承認を得たもので、動物実験に適切な施設であると判断できる（実験室設置承認申請書 書式5）。また実験動物の飼育・管理に関しては同規程第11章第43条から第51条に適合する施設が設置されている（飼養保管施設設置承認申請書 書式4）。

#### [改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

### 5) 安全管理状況

#### [現状と点検・評価]

動物実験を実施する学部学生、大学院生及び教職員は、全学動物実験管理委員会、動物実験管理

委員会、薬学部動物管理委員会・理学部動物管理委員会及び生命科学研究センターが主催する「動物実験に関する教育訓練及び施設利用説明・講習会」に参加することが義務付けられており、安全管理体制は整備されている（実験動物施設利用の手引、動物実験の適正な実施に向けたガイドライン、実験動物の感染症－その影響と対策－、実験動物逸走防止及び逸走時の対応マニュアル、緊急時の対応マニュアル）。

〔改善方策〕

改善すべき点は見当たらない。

## II 実施状況

### 1) 動物実験委員会

〔現状と点検・評価〕

「城西大学動物実験規程」に基づき、委員会活動が実施されており、基本指針に適合し、適正に機能していると判断できる。

〔改善方策〕

改善すべき点は見当たらない。

### 2) 動物実験の実施状況

〔現状と点検・評価〕

2022（令和4）年度は101件の動物実験計画書が提出され、外部委員2名を含む動物実験委員会（7名）で本学の動物実験規程に照らして審査した結果、すべての動物実験計画が許可された。動物実験委員会による動物実験計画書の審査は、厳正・適正に実施されたと判断できる。

動物実験を実施するすべての学部学生、大学院生及び教職員は、講習用のビデオ教材を視聴することによって、教育訓練が実施された（総計473名受講）。

2022（令和4）年度に実施された動物実験に関する動物実験計画書（書式1）、動物実験結果報告書（書式2）、動物実験計画（変更・追加）承認申請書（書式3）、動物実験終了・中止報告書（書式8）（延べ101件）を精査した（2023年6月30日）結果を別表にまとめて示した。別表の申請数とは最初の動物実験計画書の申請数であり、使用数は動物実験終了・中止報告書の使用数である。

2022（令和4）年度の実験動物使用匹数は以下の通りである。

・ラット	2794 頭
・マウス	4010 頭
・両棲類	193 匹
・魚類	370 匹
合計	7367 頭

全ての動物実験において所定の書式が提出され、承認されている。また、申請数と使用数の間に当初の計画と大きな違いがあるものについては、動物実験計画（変更・追加）承認申請書が提出され、承認されている。

2022（令和4）年度における動物実験に基づく研究成果は学会における発表38報、誌上発表26

報（うち 18 報が投稿予定・準備中）が公表された。学会発表の件数はコロナ禍の影響も緩和しており、2021（令和 3）年度に比べて増加した。また、動物実験報告書を見ると誌上発表数も増加しており、論文執筆中、投稿準備中としているものが多いものの、誌上発表を意識していることが判断できる。くわえて、多くの研究成果が卒業研究論文、修士研究論文等にまとめられている。

2022（令和 4）年度において、実験計画書 101 件中 4 件が中止、また、実験計画の実施時期を先送りすること（研究の継続）による実験動物使用数が「0 頭」に変更された実験計画も 20 件あった。これらを合わせると 24 件になった。また、2022（令和 4）年度に実験に使用された実験動物の総数 7367 頭は、2021（令和 3）年度の 8506 頭に比べて減少した。2020（令和 2）年度においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、緊急事態宣言の発令、三密の回避による研究室の使用人員の制限など、教育研究活動に大きな制限が設けられたことに起因する実験動物使用数の減少がみられたものの、2021（令和 3）年度は、ワクチン接種が進むなど感染症対策が進んだことにより、研究の進展や着手の状況が以前の状態へと戻りつつあることがみられた。しかし 2022（令和 4）年度では、再び使用動物数は減少傾向に転じている。これは新型コロナウイルス感染症の拡大状況を経ることにより、これまで動物実験にて実施されていた研究の一部が細胞培養などの実験系に移行して、以前に比べ、より動物を使用しない形態へ移行していることによるものと考えられる。その証左に 101 件の計画のうち使用動物数が計画数より 10%以上減少したものが 40 件に達することがみられた。2023 年 5 月以降、新型コロナウイルス感染症は、2 類から 5 類感染症へと変更されたが、動物実験を取り巻く環境もポストコロナの時代へ移行し、実験系自体の変化により、今後、使用動物数がより減少していく可能性が考えられた。

なお、21 号館動物室の飼養保管に際しては、ケージサイズ違いや床敷交換忘れ、IVC ラックの不適切利用による死亡事故が生じたこと報告されている（実験動物飼養施設報告書参照）。

#### [改善方策]

実施された動物実験は適切であったと評価できる。研究成果の公表については、今後、さらに学会発表、誌上発表数の増加が望まれる。

また、21 号館動物室の飼養保管に際して不適切事例が報告されたことから、今後の教育訓練において不適切事例の周知徹底を図り、再発防止に努めることが望まれる。

### 3) 実験動物の飼育保管環境

#### [現状と点検・評価]

実験動物の飼育・管理に関しては城西大学動物実験規程第 11 章第 43 条から第 51 条に従って適正に実施された。東日本大震災の教訓から、動物飼育施設において、特に遺伝子改変動物の飼育に関しては、厳重な飼育場所と同時にネズミ返し等の防御策がとられている。

飼養施設における実験動物への感染症予防のために、16 号館動物施設、21 号館動物施設、22 号館動物施設、23 号館動物施設、生命科学センター内実験室及び動物施設は、定期消毒が実施されている。また、他の実験室や飼育室も適切に管理・清掃されている。

#### [改善方策]

地震などによるケージの落下を想定し動物が逸走しないよう、引き続き飼育環境の整備に努める。

#### 4) 教育訓練の実施状況

##### [現状と点検・評価]

「2022（令和4）年度 動物実験に関する教育訓練及び施設利用説明・講習会」は、動物実験に関わる全ての教員、大学院生、学部学生、研究生を対象として、新型コロナウイルス感染症防止対策のために、全学動物実験管理委員会、動物実験管理委員会、薬学部動物管理委員会・理学部動物管理委員会及び生命科学研究センターとの合同で、2021年度「動物実験に関する教育訓練および施設利用説明・講習会」の動画を録画し、利用する研究室ごとにビデオを配信し、視聴してもらうこととした。申請書等は、視聴したことを踏まえて、提出してもらった。（コロナウイルス感染対策のため）。教育訓練は、2022年6月～2022年9月の期間で、適正に実施された（総計473名受講）。

また、理学部動物施設の利用者を対象とした「2023年度理学部動物施設の利用手引説明・講習会」が2023年3月8日に開催され、理学部動物管理委員会により適正に実施された。（総計16名参加）。

犠牲動物に対する「実験動物慰霊式」は、2023年3月10日10:00～16:00に10号館1階102教室を会場として、新型コロナウイルス感染症対策の観点から個人参拝の形式として開催された（総計240名参加）。

##### [改善方策]

2023（令和5）年度は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い動物実験実施数が増加する可能性も考えられるが、ポストコロナにおける動物実験のあり方も変化する可能性も考えられる。いずれの状況下においてもこれまで通り効果的な基本となる動物実験教育を実施し、様々な工夫により、適切に動物実験が実施されることが望まれる。

#### 5) 自己点検・評価、情報公開

##### [現状と点検・評価]

城西大学動物管理自己点検評価委員会による、2022（令和4）年度の動物実験管理に関する自己点検評価は、全ての動物実験結果報告書が提出され、各委員会の報告書も提出されており、ここに同報告書を作成することができた。

情報公開については、文部科学省「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本方針」に準じて、1) 全学動物管理委員会等の名簿、2) 2021（令和3）年度城西大学動物実験自己点検・評価報告書、3) 動物実験に関する届出・計画書式が公開されている。

##### [改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

以上

## 2022(令和4)年度 動物実験実施状況(動物実験管理自己点検評価委員会)

動物種 承認番号	動物申請数、使用数								研究成果(卒業論文・修士論文等は備考に記載)			実験の結果					
	ラット		マウス		両棲類		魚類		学会発表	誌上発表	備考	計画どおり実施		一部変更・追加して実施*		中止	使用数 <sup>0</sup> のもの
	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数				継続	終了	継続	終了		
JU 22001	80	2							1								
JU 22002	160	5						1	1								
JU 22003	163	66	75	75													
JU 22004	116	116							1								
JU 22005	84	81						1				○					
JU 22006			180	204					1								
JU 22007	72	72	72	72				1		学会発表予定		○					
JU 22008	280	120						1	1	学会誌投稿予定							
JU 22009	48	48										○					
JU 22010	110	47								卒業論文研究							
JU 22011	48	31								卒業論文研究							
JU 22012	40	40										○					
JU 22013	30	30											○				
JU 22014	64	64										○					
JU 22015			48	48								○					
JU 22016			80	80								○					
JU 22017			80	80						1	学会誌掲載予定	○					
JU 22018			60	60								○					
JU 22019	195	195						1	1					○			
JU 22020			296	256				1	1								
JU 22021	30	30										○					
JU 22022	20	0															1
JU 22023	80	6							1								
JU 22024	20	5	35	20													
JU 22025	24	10						1									
JU 22026	18	6						1									
JU 22027	18	0															1
JU 22028	12	0															1
JU 22029	12	12						1				○					
JU 22030	4	0															1
JU 22031	4	4										○					
JU 22032	93	93	396	396	44	44						○					
JU 22033			60	0													1
JU 22034	96	96						1	1	卒業論文研究		○					
JU 22035	96	0	120	5													1
JU 22036	72	72	108	0						卒業論文研究							
JU 22037			96	20				1									
JU 22038			120	0						中止						1	1
JU 22039	130	130						1		卒業論文研究		○					
JU 22040			200	200				1		卒業論文研究		○					

2022(令和4)年度 動物実験実施状況(動物実験管理自己点検評価委員会)

動物種 承認番号	動物申請数、使用数								研究成果(卒業論文・修士論文等は備考に記載)			実験の結果					
	ラット		マウス		両棲類		魚類		学会発表	誌上発表	備考	計画どおり実施		一部変更・追加して実施*		中止	使用数 <sup>0</sup> のもの
	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数				継続	終了	継続	終了		
JU 22041			80	5													
JU 22042	100	100							1		卒業論文研究	○					
JU 22043			80	80					1		卒業論文研究		○				
JU 22044	90	0									中止					1	1
JU 22045			50	30							卒業論文研究			▽			
JU 22046	30	8									大学院総合医療栄養学演習			▽			
JU 22047	96	80	228	211							解剖生理学実験B			▽			
JU 22048			60	0							中止					1	1
JU 22049			64	16					1	1	学会誌投稿予定			▽			
JU 22050			45	15					1	1	学会誌投稿予定			▽			
JU 22051	184	20							1	1	学会誌投稿予定						
JU 22052	60	60							1			○					
JU 22053	60	20							1					▽			
JU 22054	60	60							1			○					
JU 22055			40	23					1	1	学会誌投稿予定				▽		
JU 22056			10	10							1 学会誌投稿予定	○					
JU 22057			270	197					1		卒業論文研究			▽			1
JU 22058	226	226							1	1	学会誌投稿予定	○					
JU 22059	30	30							1	1	学会誌投稿予定	○					
JU 22060			30	30					1	1	学会誌投稿予定		○				
JU 22061	54	54									薬科学実験B	○					
JU 22062			64	64					1	1	学会誌投稿予定		○				
JU 22063			30	30					1	1	学会誌投稿予定		○				
JU 22064	12	25	3	0										△▽			1
JU 22065			200	200					1			○					
JU 22066	20	4	960	600					1					▽			
JU 22067	130	130									薬学実習A	○					
JU 22068	96	96									他大学紀要投稿予定	○					
JU 22069	36	36									他大学紀要投稿予定	○					
JU 22070			270	162					1	1	国際誌投稿予定			▽			
JU 22071			144	144					1	1	国際誌投稿予定	○					
JU 22072			144	144						1		○					
JU 22073			6	33					1		卒業論文研究			△			
JU 22074			82	116							卒業論文研究			△			
JU 22075	100	100							1		卒業論文研究、修士論文研究	○					1
JU 22076	22	22									卒業論文研究、修士論文研究	○					
JU 22077	78	110									卒業論文研究				△		
JU 22078	60	0									中止					1	1
JU 22079	48	18												▽			
JU 22080			42	42								○					



2022(令和4)年度 動物実験実施状況(動物実験管理自己点検評価委員会)

動物種 承認番号	動物申請数、使用数								研究成果(卒業論文・修士論文等は備考に記載)		実験の結果						
	ラット		マウス		両棲類		魚類		学会発表	誌上発表	備考	計画どおり実施		一部変更・追加して実施*		中止	使用数"0"のもの
	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数				継続	終了	継続	終了		
JU 22081	48	48	60	60													
JU 22082			320	0										▽			1
JU 22083			50	0										▽			1
JU 22084			60	50							栄養学実験			▽			
JU 22085	160	36						1	1					▽			
JU 22086			60	60				1				○					
JU 22087					120	120						○					
JU 22088					29	29						○					1
JU 22089			6	0										▽			
JU 22090							220	220	1			○					
JU 22091							150	150	1			○					
JU 22092			16	18										△			
JU 22093			6	0										▽			1
JU 22094			6	2										▽			
JU 22095			48	32										▽			
JU 22096	30	30											○				
JU 22097			64	46										▽			1
JU 22098	50	100									修士論文研究				△		
JU 22099			36	0										▽			1
JU 22100			55	74						1	学会誌投稿予定				△		
JU 22101			110	0						1	学会誌投稿予定			▽			1
計	4099	2794	5825	4010	193	193	370	370	38	26						4	20

\* 「一部変更・追加して実施」の「▽」は申請数に対する使用数が10%以上減少、「○」は申請数に対する使用数の増減が10%未満、および「△」は申請数に対する使用数が10%以上増加を示す。

動物実験申請総数:100件      中止件数:4件      総使用動物数:7367頭      学会発表数:38件      誌上発表:26報

## 2022年度 動物実験委員会活動報告書

委員会メンバー：木村光利（委員長）、小林順（副委員長）、北川浩子、清水純、茂木肇、鈴木研太（外部委員）、須長陽子（外部委員）、三橋秀行（事務局）、玉井彩子（事務局）、星野雅文（事務長）

### 1 2022年度の動物実験委員会活動計画

- 1) 2022年度の動物実験管理委員会への動物実験実施計画書の募集を依頼
- 2) 定期的な動物実験実施計画書の審査を実施
- 3) 臨時の動物実験実施計画書の募集とその審査を実施
- 4) 動物実験管理委員会へ動物実験実施報告書の提出を依頼
- 5) 動物実験管理委員会へ新規実験室設置承認申請書の提出依頼と調査の実施依頼

### 2 2022年度の動物実験委員会活動報告

(1) 外部委員出席の下で、飼養保管施設・動物実験施設設置承認および定期的な動物実験実施計画書の審査を実施した。

- 1) 日時：2022年4月5日、13時30分～14時40分、於：清光会館1階第1会議室  
・飼養保管施設承認許可（新規・変更・廃止等）申請書（新規：23号館動物室(理学部) 新規開設(2022.3.11.) 1件、廃止：1号館動物室(理学部) 1号館閉鎖(2022.3.11.) 1件) が提出された。

本学の動物実験規定に照らした審査を実施し、全ての施設に関し承認された。

- ・実験施設設置承認許可（新規・変更・廃止等）申請書（新規：受付番号 R03001～003 3件、変更：承認番号 LH22004, LH25001, LH22002, 18104-1, 18104-2, 18104-3, LH29018 7件、廃止：承認番号 LH29022, LH29023, LH29024, LH22008, LR03001 5件) が提出された。

本学の動物実験規定に照らした審査を実施し、全ての施設に関し承認された。

- ・実験計画申請書類数 94 件（受付番号 04001～04094）（内新規動物実験実施計画書 14 件) が提出された。

本学の動物実験規定に照らした審査を、新規の C と D を中心に審査を実施し、全ての計画書に関し承認された。

計画書の内訳ランク A 0 件、B 13 件、C 13 件、D 68 件

- 2) 日時：2022年9月29日、11時00分～11時40分、於：清光会館1階第1会議室  
・動物実験計画書に関し、変更届（承認番号 JU22024, 22079, 21007 2件）、および新規申請書（受付番号 04095～04101 7件）が提出され、本学の動物実験規定に照らした審査を実施し、全て承認された。

新規申請書内訳ランク B 1 件、C 0 件、D 6 件

- ・城西大学全学動物実験管理委員会 審査手順書（案）について

確認の後、承認された。なお、審査手順書の「3.動物実験計画書の審査手順」に総合判定「C：差し戻し」が明記され、動物実験計画書（書式1）の動物実験管理委員会欄が変更になる旨についても説明があり、承認された。

- (2) 動物実験管理委員会から提出された2021年度の動物実験実施報告書の審査を実施した。

1) 日時：2022年4月5日、13時30分～14時40分、於：清光会館1階第1会議室  
実施報告書101件（承認番号JU21001～JU21101）（101件）が提出された。

本学の動物実験規定に照らした審査を実施し、全て承認された。

### 3 2022年度の動物実験委員会活動の自己評価

報告書の提出・審議状況より、年度当初の活動計画1)～5)を適正に実行できたものと考えられる。

### 4 その他

1)「動物実験に関する申請手続き」および実験処置コード表(苦痛度検索) 202110 改の変更について  
報告した。

2) 2022年度「動物実験に関する教育訓練及び施設利用説明・講習会」について  
集合研修→オンライン講習に変更した(新型コロナウイルス感染症対策の影響による。)

3) 2022年度「飼養保管施設の維持管理状況」について  
動物実験委員会委員により視察が行われ、施設は適正であった。

4) 動物実験関連の今後の課題点および対応について  
「令和4年度公私立大学実験動物施設協議会総会及びシンポジウム」の内容と照らし合わせ、本  
学の動物実験規程に関して、事務にて原案を作成しており、今後は関連委員会と検討を行っ  
た。

5) 2022年度「動物実験室の自己点検」調査について  
「動物実験室の定期的な点検」に対応するため、現在、動物実験室の責任者による自己点検を  
実施した。

6) 動物施設の緊急時連絡体制図の見直しについて  
動物実験施設の緊急時連絡体制図について、実情に合わせた見直しを行った。

以上

2023年4月7日(火)木村 光利 (委員長)

2022 年度動物実験管理委員会活動報告

委員会名	動物実験管理委員会
メンバー	委員長 須永、副委員長 河合、岡崎、田中亨、大島（新）、菊地、岩田、森田、望月（JAC）
会議回数	5 回（メール会議 4 回含） 議事録は報告書の下に添付
年度初めの計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育・訓練の実施 → 生命研、薬学部動物管理委員会合同 Web 動画配信</li> <li>2. 中間期での動物実験計画書、動物実験室等の追加等の提出および加筆訂正</li> <li>3. 2022 年度動物実験結果報告書の作成依頼および加筆訂正</li> <li>4. 2023 年度動物実験計画書等の作成依頼</li> <li>5. 動物慰霊式の開催 → 生命研、薬学部動物管理委員会合同</li> <li>6. 2022 年度動物実験結果報告書、2023 年度動物実験計画書等の提出 → 全学動物実験管理委員会へ</li> <li>7. 以下の項目を適宜、指導、実施する。</li> </ol>
実施状況結果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全学動物実験管理委員会、生命科学研究センターおよび薬学部動物管理委員会との合同で、2022 年度「動物管理・実験に関する教育訓練および施設利用説明・講習会」の動画を録画し、利用する研究室ごとにビデオを配信し、視聴してもらうこととした。申請書等は、視聴したことを踏まえて、提出してもらった。（コロナウイルス感染対策のため）。</li> <li>2. 中間期での動物実験計画書、動物実験室等の追加等の提出を依頼し（7 月）、加筆訂正後、全学動物実験委員会に提出した（9 月）。</li> <li>3. 2022 年度動物実験結果報告書の作成を依頼し（2023 年 1 月）、加筆訂正した（2023 年 3 月）。</li> <li>4. 2023 年度動物実験計画書等の作成を依頼し（2023 年 1 月）、加筆訂正した（2023 年 3 月）。</li> <li>5. 全学動物実験管理委員会から依頼のあった動物慰霊式は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、個人参拝の形式として実施した。 日時：2023 年 3 月 10 日 10：00～16：00 場所：10 号館 1 階 102 教室</li> <li>6. 2022 年度動物実験結果報告書、2023 年度動物実験計画書等を全学動物実験管理委員会へ提出した（2023 年 3 月）。</li> <li>7. その他 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 次年度の動物管理・実験に関する教育訓練および施設利用説明・講習会の開催日時を協議した。コロナウイルス感染のリスクが高いため、2022 年度同様 Web 動画配信にて視聴してもらい申請書等を提出してもらう。</li> <li>2) 薬学部動物施設および生命科学研究センターの 2022 年度の飼養に関して点検し、各施設から飼養報告書が提出された（別紙添付）。</li> </ol> </li> </ol>

活動の 評価	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 概ね滞りなく行った。</li><li>2. 「動物管理・実験に関する教育訓練および施設利用説明・講習会」Web 動画配信にて実施し、受講者は 498 名であった。</li></ol>
-----------	--

2022 年度委員会報告

委員会名	動物実験広報委員会
委員	委員長 上田秀雄 副委員長 片倉賢紀 委員 工藤なをみ、伊東順太、佐野香織
会議回数	1回 (2022 年度活動報告について)
年度始めの計画	城西大学全学動物実験管理委員会の活動をホームページ等により広報する。
実施状況と結果	実施状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ上の動物実験計画書・届け出書式、施設利用申請書等の更新作業を行った。</li> <li>・全学動物実験管理委員会活動内容をホームページに掲載した。</li> <li>・2021 年度城西大学動物実験自己点検・評価報告書をホームページに掲載した。</li> </ul>
自己評価	2021 年度城西大学動物実験自己点検・評価報告書を公開し、文部科学省「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本方針」に準じた情報公開ができたと考えられる。種々フォーマットの更新に伴うホームページの更新も速やかに行われ、妥当な活動が行われたと評価できる。

2022（令和4）年度 動物実験管理自己点検評価委員会活動報告

委員会名	動物実験管理自己点検評価委員会
委員	委員長 和田政裕 副委員長 一色恭徳 委員 石黒直哉 内田昌希 五十嵐庸 中谷祥恵
会議回数	1回（メール会議）
実施状況と結果	各実験動物委員会報告を受け、取りまとめと評価についてメール会議を行った。 全学動物実験管理委員会委員長からの指示により、2022（令和4）年度 城西大学動物実験自己点検・評価報告書を学長へ提出した。
活動の評価	城西大学動物実験自己点検・評価報告書の作成は、予定通りにおこなうことができた。

2022（令和4）年度 第1回 動物実験管理自己点検評価委員会（メール会議）議事録

審議者 和田 一色 内田 中谷 五十嵐

期 間 2022（令和4）年6月11日～2022（令和4）年6月16日

議案

1. 2021（令和3）年度 動物実験管理自己点検評価委員会報告書（案）について  
2020（令和2）年度 動物実験管理自己点検評価委員会報告書（案）について、メール会議により審議をおこない、原案通り承認された。

以上



2023年 9月 7日

### 実験動物飼養施設報告書

1 飼養保管施設の名称	16号館動物室
2 管理者氏名	夏目 秀規
3 実験動物管理者氏名	菊地 秀与
4 保守・点検 ※生命科学研究センターは環境検査・ モニタリング検査も記入	空調機器保守等の実施[7月8日(金)]
5 消毒作業	7月11日(木)より2日間
6 設備の設置・修繕	特になし
7 事故(動物の施設外逸走 や動物による危害等)の有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ※下記に内容を記入
8 その他、飼養保管に際し て生じた問題等	特になし
9 自己評価・報告等	新型コロナウイルス感染症防止下ではあるものの、利用者の適 正利用により年間を通して概ね良好な飼養環境が維持され た。引き続き飼育(給餌や床がえ)の怠慢等を防止する、利用 者のマナー向上にむけた注意喚起等を行っていききたい。

2023年 9月 7日

### 実験動物飼養施設報告書

1 飼養保管施設の名称	21号館動物室
2 管理者氏名	夏目 秀視
3 実験動物管理者氏名	八巻 努
4 保守・点検 ※生命科学研究センターは環境検査・ モニタリング検査も記入	空調点検[7月5日(火)]
5 消毒作業	7月6日(水)より3日間
6 設備の設置・修繕	特になし
7 事故(動物の施設外逸走 や動物による危害等)の有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ※下記に内容を記入
8 その他、飼養保管に際し て生じた問題等	ケージサイズ違いや床敷交換忘れ、IVC ラック不適切利用による死亡事故などが起こった。
9 自己評価・報告等	今年度は飼育保管に関するトラブルが多数でた。新型コロナウイルス感染症防止下によるオンライン講習のせいもあり、施設利用マナーが行き届いていないことが考えられた。次年度は教場にて講習会を実施し、利用者マナー向上を目指したいと考える。

2023年 9月 7日

### 実験動物飼養施設報告書

1 飼養保管施設の名称	22号館実習用動物保管庫、
2 管理者氏名	夏目 秀視
3 実験動物管理者氏名	一色 恭徳
4 保守・点検 ※生命科学研究センターは環境検査・ モニタリング検査も記入	空調機器保守等の実施[7月7日(木)、12月8日(木)]
5 消毒作業	7月13日(水)より2日間
6 設備の設置・修繕	エアコン追加工事の実施[7月28日(木)より10日間]
7 事故(動物の施設外逸走 や動物による危害等)の有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ※下記に内容を記入
8 その他、飼養保管に際し て生じた問題等	特になし
9 自己評価・報告等	新型コロナウイルス感染症防止下ではあるものの、利用者の適正利用により年間を通して概ね良好な飼養環境が維持された。引き続き飼育(給餌や床がえ)の怠慢等を防止する、利用者のマナー向上にむけた注意喚起等を行っていききたい。

2023年 8月 25日

### 実験動物飼養施設報告書

1 飼養保管施設の名称	理学部動物室
2 管理者氏名	飯田 正敏
3 実験動物管理者氏名	森田 勇人
4 保守・点検 ※生命科学研究センターは環境検査・ モニタリング検査も記入	23号館(新棟)に移転し、すべての装置は新品となった。理学部動物施設に関係する教員全員が設置業者(ICM)からマウス室及び水棲生物室の仕様及び点検方法等の説明を受けた。 給気ユニットのプレフィルターの清掃を行った。加湿器の水のフィルターは適宜交換した。
5 消毒作業	消毒作業を行った後に2022年3月に引け渡された。
6 設備の設置・修繕	特になし。
7 事故(動物の施設外逸走 や動物による危害等)の有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ※下記に内容を記入
8 その他、飼養保管に際し て生じた問題等	問題はなかった。
9 自己評価・報告等	利用者は動物室の使用ルールを遵守して利用していた。また、動物運搬では配布された収納バックにより運搬していた。

2023年 5月 19日

### 実験動物飼養施設報告書

1 飼養保管施設の名称	生命科学研究センター
2 管理者氏名	岡崎 真理
3 実験動物管理者氏名	木村 光利
4 保守・点検 ※生命科学研究センターは環境検査・ モニタリング検査も記入	[環境検査](原則年3回実施) 6月 8日 異常なし 10月 12日 異常なし 2月 1日 (4階)異常なし 2月 15日 (5階)異常なし [SPFヘアレスラットモニタリング検査](原則年3回実施) 6月 6日 異常なし 10月 11日 異常なし 2月 8日 異常なし [保守点検] 2月 8日 オートクレーブ(大型・小型)装置部品交換
5 消毒作業	7月 19日~7月 29日実施
6 設備の設置・修繕	[修 繕] 5月 13日 1階玄関ドアゴムパッキン修理依頼 5月 18日 エレベーター故障、修理完了 5月 25日 5階洗浄室 扉の修理依頼 6月 3日 オートクレーブ配管蒸気漏れ修理 6月 20日 5階洗浄室ドア修理 8月 1日 4階ロッカー室扉、SPF感染症室扉のドアクロザー 修理 8月 8日 5階 SPF3室 温湿度センサー交換 10月 3日 ボイラー給水ポンプ修理 4階から5階廊下電源工事依頼 12月 21日 1階非常口オートロック故障対応 2月 7日 空調機点検 2月 14日 4階洗浄室 蛇口 2月 16日 4階 PS 5階 PS 火災報知器再取付工事 2月 17日 4階 404室(飼育室2)ドア故障修理依頼

	<p>[整 備]</p> <p>4月15日 4階エレベーター前廊下 レターケース設置</p> <p>5月25日 4階エレベーター前廊下 掲示板(ホワイトボード)設置</p> <p>5月27日 4階エレベーター前廊下 机設置 受付整備</p> <p>8月9日 ビニールアイソレーター納品</p> <p>8月31日 サーキュレーター2台</p> <p>10月14日 動物はかり用プリンター1台</p> <p>2月3日 大型扇風機設置稼働</p> <p>3月15日 掃除機設置(3台) 台車 1台</p>
<p>7 事故(動物の施設外逸走や動物による危害等)の有無</p>	<p>■無</p> <p><input type="checkbox"/>有 ※下記に内容を記入</p>
<p>8 その他、飼養保管に際して生じた問題等</p>	<p>特になし</p>
<p>9 自己評価・報告等</p>	<p>2022年度生命科学研究センターにおける実験動物の飼養につきましては、年間を通し、概ね良好な飼育環境を維持することができました。</p> <p>昨年に引き続き「生命科学研究センター利用の際の新型コロナウイルス感染症対策」を遵守し施設の運営を図りました。</p> <p>その他の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練(10月19日)に参加しました。</li> <li>・障がい者対応(足に障がいがあり専用靴を履いている学生の入館方法の検討を行いました。)</li> </ul>